

(10) 対象基準地の前年標準価格等からの検討	①-1対象基準地の検討 ■継続 □新規			③ 価格形成要因の変動状況	[一般的要因]	区の人口は微増。商業地の取引件数は減少とみられる。取引価格は上昇。賃料は住宅系は横ばい～上昇、商業系は横ばいの状況である。
	前年標準価格 783,000 円／㎡				[地域要因]	地域要因に特段の変化はなく、価格への影響はみられない。
	①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討					
	□代表標準地 □標準地					
	標準地番号 -					
	公示価格 円／㎡				[個別的要因]	個別的要因に変動はないが、南側隣地に共同住宅建築中。
②変動率		年間 +12.4 %	半年間 %			